

豊富町議会広報紙

議会 とよとみ

9月
定例会
9月8日～9日

② 9月定例会のあらまし

④ 決算審査

⑥ 一般質問

⑧ 町のことチェック

⑩ 追跡調査「熊対策」

⑫ 議会レポート

◇総務産業常任委員会 現地視察

◇北海道町村議会議員研修会

◇広報研修会

◇アイデアコンテスト&交流会

⑮ 表紙紹介

⑯ 高校生の声、中学生の声

「議会とよとみ」はスマートフォン
でも見られます



令和8年
10月
[第257号]

奮闘中！ 漁業研修生の飯嶋さん

～和気あいあい 笑顔いっぱいの稚咲内漁港で～

表紙の詳細は 15 ページをご覧ください

一般会計 支出額



64億3,920万8千円

9月定例会のあらまし

令和8年第3回定例会が開催されました。

一般質問では、2名の議員が登壇し、町長へ3件の質問を行いました。

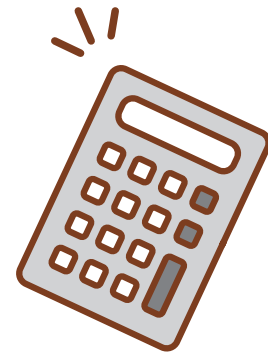
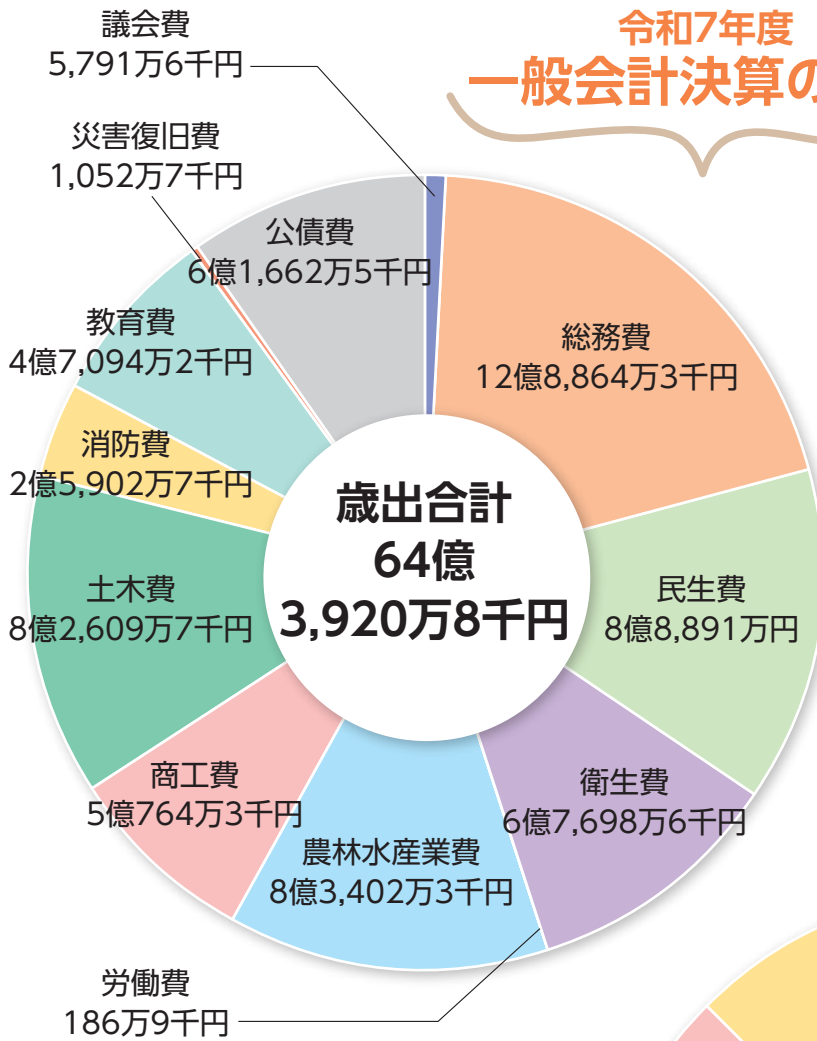
町長から提案された1件の条例制定、1件の条例改正、2件の条例廃止、7件の補正予算、9件の決算認定、1件の選任同意、3件の報告のほか、議員から提出された3件の意見書案についてはすべて原案可決されました。

各会計の令和7年度決算の認定については、予算決算常任委員会に付託され、すべて認定されました。

このページでは、認定された決算についてご紹介します。

会計名	歳入(収益)	歳出(費用)
一般会計	69億 910万1千円	64億3,920万8千円
国保事業会計	5億7,202万5千円	5億3,680万5千円
後期高齢者会計	7,592万8千円	7,438万3千円
国保診療所会計	5億7,252万6千円	5億3,867万1千円
簡易水道事業会計	1億9,983万3千円	1億7,968万1千円
公共下水道事業会計	2億3,480万3千円	2億2,163万円
介護保険会計	5億 437万4千円	4億9,260万3千円
介護サービス会計	458万6千円	415万2千円
ガス事業会計	1億5,891万1千円	1億5,452万4千円
合 計	92億3,208万7千円	86億4,165万7千円

令和7年度 一般会計決算の内訳



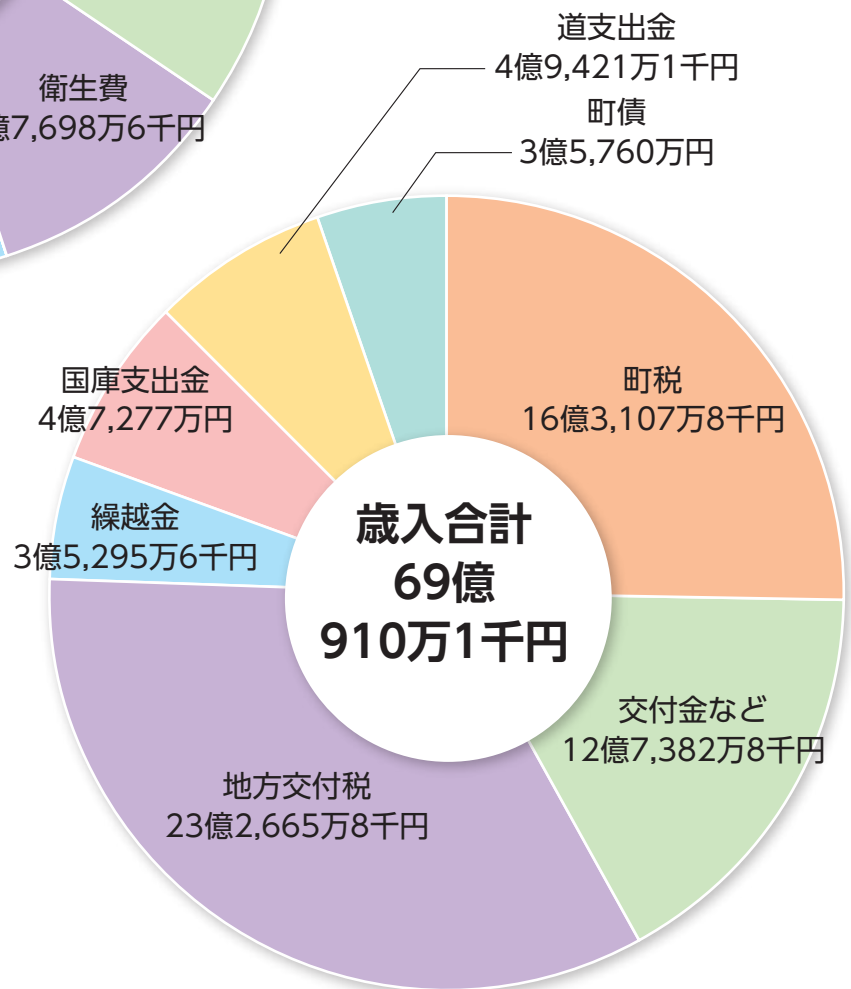
令和7年度一般会計決算額

[歳入]
69億 910万1千円

[歳出]
64億3,920万8千円

[歳入歳出差引額]
4億6,989万3千円

黒字決算となりました



用語解説

歳出

- 総務費**▶役場の維持管理、地域振興などに関するお金
- 民生費**▶保育園、児童手当、高齢者福祉、障がい者福祉などに関するお金
- 衛生費**▶ワクチン接種、ごみ処理などに関するお金
- 土木費**▶道路整備や除雪などに関するお金
- 公債費**▶町債の返済に関するお金

歳入

- 町税**▶住民税や固定資産税などの税金
- 地方交付税**▶自治体の規模や人口に応じて国から交付されるお金
- 国庫・道支出金**▶事業に対して国や北海道から補助されるお金
- 町債**▶事業を行うために借りたお金

決算 審査

決算審査とは？

町の予算は町長から提出された予算案を議会で審査し議決されますが、その予算がどのように使われ、町へどのような効果が得られたのかを調べるため、議会では決算についても審査を行います。



1 農林水産業費

林道草刈業務委託料

決算額 **2,893** 千円

林道各路線の不陸修正や排水等の小修繕を行い、林道通行の安全性を確保した。
※森林を管理・活用するための道路網として、「施業道」「作業道」「林道」があり、林道は一般車両の通行が可能。(R7年度施業した路線は町内12路線:52km)

議員 意見

林道の維持管理に手薄な状況が見られる。笹が覆いかぶさり車両が通れない林道があるため、不便にならないような維持管理をすべきではないか。

2 土木費

住宅管理費

(はまなす団地防犯カメラ購入費)

決算額 **943** 千円

はまなす団地に車両の出入りや各住棟への出入りを撮影するための防犯カメラを設置した。※1町内団地・中央団地は防犯カメラ設置済み

議員 意見

平屋の住宅には設置されていない状況であり、事件事故があってからでは遅いため、犯罪抑止のためにも設置が必要ではないか。

3 教育費

豊富町内小学校グラウンド 整備工事費

決算額 **2,354** 千円

豊富小学校、兜沼小中学校のグラウンドが風等で土が飛ばされて全体の量が少なくなっているため土砂の追加及び整備を行った。

議員 意見

豊富小学校はグラウンドだけでなく砂場に穴が空いている。小さい子が遊ぶ場所が少ないため、全体の現状を把握して工事をするべきではないか。

4 国保会計

特定健康診査等事業費 (体成分分析器賃借料)

決算額 **276** 千円

体重だけでなく、筋肉量・体脂肪量・水分・ミネラルなどを細かく測定して、身体の左右バランスなどを数値化する機器の賃借料。

議員 意見

事業があるタイミングだけでなく、町民の健康増進のためにたくさんのPRが必要ではないか。すごく良いもののなのに、町民は測定できることを知らないのではないか。

豊富町の事業を振り返って

決算 審査

質疑をピックアップ

質疑③

・農林水産業費 **決算額6,820千円**
陸上養殖実証試験業務委託料

佐々木誠議員 陸上養殖の施設を視察したが、どのような結果になったのか。

副町長 稚畠内の水槽を使用してサクラマスの実験を行い、最初は予定通りに進まず魚の生存ができなかった。結果的には試食ができ、味は高評価であったが大量には生存できなかったため、サクラマスの結果は厳しい状況。水産業の振興としてはこれからになる。

質疑④

・介護サービス事業特別会計 **決算額4,152千円**
地域包括支援センター費

小笠原議員 在宅サービスはどのような状況か。

保健推進課長 **地域包括係長** 地域包括支援センターでは、在宅要支援認定者47名(R8.3現在)を支援し、職員3名で分担している。在宅要介護認定者は社協職員(ケアマネジャー)2名で60～70名の支援をしている。介護報酬の上限は45名/人(90名/2名)までとなり、担当人数としては適正だが、社協職員(ケアマネジャー)1名の募集をかけている。

千葉議長 相談がある時に、地域包括支援センターがどこへ行ったら良いかわからないと町民から言われている。

町長 周知がなかなか伝わらない部分がある。困りごとがあれば、役場にきて職員に聞けば教えてくれる体制づくりが必要であり、町民が頭を悩ませない仕組みを作っていく。気楽に町民が役場にきて、相談ができるように敷居のない役場を目指す。

質疑①

・総務費 **決算額28,147千円**
ふるさと納税プロモーション支援業務委託料

千葉議長 手数料が2.5%の安価なポータルサイト(委託先)が出てきているが、今後の対策はどうなるのか。

総務課長 19ポータルに平均10%の手数料を支払い、4大ポータルサイトが9割を占め、費用をかけてコマーシャルするメリットはあるが、手数料が負担になっているのが実態であり、新しいポータルサイトを追加するか考えていきたい。

千葉議長 ふるさと納税額が減少している現状で、もっと根本的に考える必要がある。

総務課長 幅広く考えなければならない課題で、新しい委託先も出てくる可能性もあり、他町村とも連携し、なるべく早く収入が得られるように努力していく。

質疑②

・民生費 **決算額288千円**
民生委員協議会助成事業

千葉議長 民生委員の年齢構成はどのような状況になっているか。

社会福祉係長 全体で21名で構成され、60歳代後半から70歳代前半の方が半数以上を占める。年齢が最も上の方は70歳代後半、下の方は50歳代となっている。

千葉議長 今後はどのように考えているか。

社会福祉係長 委員の高年齢化は、道内全体でも同様の傾向にある。今後に向けては民生児童委員活動の周知・啓発の取組みを拡大するなど、若い世代の方にも委員を担っていただけるような環境づくりが必要と考える。

予算決算常任委員長の審査報告

おがさわら てるみ
予算決算常任委員長 **小笠原 照美**

税や使用料負担の公平性を保ち適切な財源の確保を

令和7年度決算においては、国から交付された重点支援地方交付金を活用し、町民へ直接届く支援がなされましたが、過疎地域を中心とした公共インフラの老朽化、頻発する自然災害への防災・減災対策など地方自治体に対する環境は厳しい状況下にあります。

今後も税や使用料負担の公平性を保ち、適切な財源の確保に努められ、行財政の効率的な執行により、健全財政が堅持されずとも、議会との対応を密にし、さらなる住民福祉の向上、町民の付託に応えるため、より一層の努力を期待するものであります。



一般質問とは？

議員が町の事務の執行状況や将来の方針について、町長などに説明・報告を求め、町が町民のための適切な町政運営を行っているかを確認するものです。

今回は2名の議員から一般質問が提出されたのでご紹介します。

ココが聞きたい！

一般質問

さ さ き まこと
佐々木 誠

5番

- (1) 牛乳補助券の対象者拡大を
(2) 安心安全を守る見守り体制の強化は

P 6

たけなか たかひろ
竹中 隆浩

3番

- (1) 移住体験ハウスの新設へ

P 7

問 牛乳補助券の対象者拡大を

町長 令和9年度より対象者を全町民へ拡大する

議員 牛乳補助券の交付対象者に障がいのある方が含まれていない現状があり、障がいがある方への支援が相対的に少なく、置き去りにされているのではないかとという当事者ご家族の切実な声が届いている。

基幹産業である酪農振興と町民に寄り添う福祉施策の公平性の観点から、障がいのある方にも牛乳補助券の交付対象を拡大すべきと考えるが町の対応は。

町長 新鮮で栄養豊かな地場産牛乳を、より多く手に取っていただき、さらなる健康増進、消費拡大となるよう令和9年度より対象者を全町民に拡大し、執り進めていく。

[豊富町地場産牛乳消費拡大事業 牛乳補助券とは？]

町民の健康増進や地場産消費拡大を目的として、高齢者や子ども(高校3年生まで)を対象とした牛乳補助券を1人50枚交付しており、補助額は対象商品(牛乳やヨーグルト)1点につき店頭価格より75円引きで購入することができる



問 安心安全を守る見守り体制の強化は

町長

民生委員の協力で自宅訪問や声かけを実施している

議員

高齢化が進行し、行政と地域が連携した見守り体制の現状と今後の取組みは。

①高齢者の推移、介護サービスを利用していない高齢者、孤立しがちな高齢者の把握や名簿の更新状況

②見守り協定の締結状況、締結の拡大予定

町長

地域の見守りの軸として、民生委員のご協力で定期的な訪問や声かけを行い、体調変化や生活の困りごとを察知した際は、地域包括支援センターや社会福祉協議会などで対応し、名簿は「避難行動要支援者名簿」を活用している。高齢者の平均年齢が高くなっていることを踏まえ、見守り協定未締結の事業への対応を検討する。

介護方法、介護保険制度や申請手続き、認知症についてのご相談 などをお受けします

豊富町 地域包括支援センター

【豊富町役場 保健推進課 所属】

平日 8時30分～17時15分 ☎0162-29-7830

認定を受けていない高齢者 1,020人
孤立しがちな高齢者 469人

【高齢者人口の推移】

令和6年度 1,333人
令和7年度 1,315人
令和8年度 1,304人

減少傾向

【見守り協定】

日本郵便(株)
北海道新聞販売所
コープさっぽろ

※緊急通報システムはセコム(株)で実施しており、救急搬送の実績がある

問 移住体験ハウスの新設へ

町長

資産の有効活用を第二に考え受入体制を検討する

議員

人口減少が進む中、移住定住対策は重要な課題である。移住を考えている方に、本町で生活していただき、町の魅力や暮らしやすさを実感し移住につなげ、また、新築に限らず、町有住宅や空き家の活用も含めた考えがあるのか。

町長

移住体験ハウスや二拠点生活などは定住につなげるための施策の一つであり、移住促進策効果が期待される一方、整備後の利用率や管理運営に見合う成果が必要。
先進事例を参考にし、移住相談や就業を含めた観点から、資産を有効に活用することを第一に考え、公営住宅の活用など移住体験の受入体制を検討する。

【移住体験ハウスとは?】

移住希望者が地域での暮らしを一定期間体験し、住環境や生活利便性、地域との関わりを具体的に確認できる施策のこと

【二拠点生活とは?】

夏を北海道で過ごすなど、都市と地方の良いところを取り入れて生活すること



町のこと

／ チェック

町長から提案された予算案等は、総務産業常任委員会・予算決算常任委員会で慎重に審議が行われます。

「豊富町はどうなっていくの？私たちの税金はどんなコトに使われていくの？」

委員会では、そんな疑問を解消するため議員から町の執行部へ様々な質問が投げかけられます。

実際に行われた議員の質問と町の回答を一部ご紹介します。

豊富町技術職員等人材確保条例の制定

【内容】 技術職員等の修学や就業に必要な資金の貸付を行い、町職員への就業促進と安定した人材確保を図り、町民生活の質の向上に資するもの。

技術職員等とは：医師、薬剤師、保健師、助産師、看護師、准看護師、管理栄養士、社会福祉士、主任介護支援専門員、保育士

利用見込みはあるのか

他町村と足並みが揃うことになるが、制度を新設しても利用者が誰もいないのでは意味がない。利用見込みはあるのか。

A 精力的に学校回りをする

精力的に学校回りを行っている。取組みが実りつつあり、金額も他より良い条件になってきているため、引き続き制度をPRしていく。

Q 全体での共有と他町とは違う良さを示す必要がある

制度を作ったが該当者が誰もいない事が無いように、全体で共有して頑張っていく必要がある。金額では優先順位が高く豊富町を選んでもらえる理由になる。

A 横断的なつながりで採用活動を行う

職種を幅広くするため、担当で話し合った経過がある。横断的なつながりで採用活動を進めていけると考えている。

豊富町におけるヒグマ対応方針等について

【内容】 緊急銃猟制度が新設され、「豊富町ヒグマ対応方針」「豊富町ヒグマゾーニング計画」「豊富町緊急銃猟対応マニュアル」を作成するもの。

【継続審議】

Q 実際に訓練はしたのか

緊急時の名簿が猟友会代表のみとなっている。実際にマニュアルに沿って訓練はしたのか。

A 図上訓練と現地訓練を実施した

各関係機関に参加いただき、マニュアル等の検討会として、8/5に役場会議室で図上訓練を実施。8/31には自然公園パークゴルフ場で現地訓練を実施し、4名のハンターと1名の若いハンターも見学で参加され、流れの確認をした。

Q 猟友会で共有されているのか

鉄砲を持つ人が共有の課題として捉えているのか。撃つのは猟友会の方たちであり、緊急時の名簿に入れるべきではないのか。

A 共有されるよう関係機関と協議していく

8/5図上訓練に猟友会の部会メンバーが参加している。誰でも撃てるわけではなく経験が必要と聞いている。連絡先には猟友会役員を掲載できるよう関係機関と協議する。

【総務費】財産管理費… 会計年度任用職員報酬

【内容】 公共施設の除雪作業員3名分の報酬を計上するもの。

有効活用しているのか

業者も少なくなり、福祉の除雪業務の委託を柔軟な対応で一緒にできないのか。

A 臨機応変に対応できるよう事例発生時に協議する

公共施設の除雪が基本ではあるが、柔軟な対応については、臨機応変にできることが望ましいため、事例が発生した際に協議していく。

【土木費】道路維持費… 修繕料

【内容】 団地周辺や歩道等で発生している陥没の修繕を行うもの。

他の歩道の陥没修繕は

通学などに支障が出ている歩道

等の陥没は他にも多々あり、越冬させるのか次年度以降で対応するのか。

A 安心安全のために費用をかける

簡易的にできるものとして、いいものを見定めながら、安心安全な道路を提供するために、費用をかけながら修繕していく。今後増えていくこともあると思うがご理解いただきたい。

【農林水産業費】農地費…工事請負費

【内容】 福永地区排水路整備工事・目梨別地区農道整備工事費を追加工計上するもの。

補正の理由は

当初予算で計上されているが、補正をする理由はなにか。

A 諸物価の値上がりと仮設追加など

福永地区は、R7の実績に基づき積算したが、諸物価の値上がり

と昨年の工事中に通行に支障が出たため、仮設の追加が必要となった。

目梨別地区は、R9までの工期となるが、次年度以降も工事量があるため、追加配分を上乘計上した。

【介護保険会計】地域支援事業費…配食サービス業務委託料

【内容】 地域支援事業の任意事業として、配食サービスを実施するもの。

利用者増の状況は

配食サービスの利用者はどれくらい増えているのか。

A 人数が2名の増と食数も増加している

人数は2名程度の増加となるが、食数が月で20食平均くらい増加となっている。個人で申込をしている方が週2回から3回に増やし、希望する日数が増加している状況。

議会とよとみ

表紙写真も募集中!

豊富町議会では、豊富町で撮影した写真及びメッセージを募集します! ご応募いただいたなかから選定し「議会とよとみ」の表紙写真とさせていただきます。たくさんのお応募お待ちしております!

【応募資格】 豊富町の写真を撮影した方

【募集内容】 風景・人物問わず豊富町で撮影した写真と100文字以内のメッセージを募集します。笑顔になれる大人・子どもの写真や、心癒される風景写真などお待ちしております! ※写真サイズはできるだけ大きく、JPG形式でお願いします。

【募集期間】 随時募集

【応募方法】 左記QRコードから、件名「議会とよとみ表紙写真」と記入し、本文にメッセージと連絡先(住所、氏名、電話番号)を記入の上、写真を送付してください。





追跡 あの質問は どうなった？



議会とよとみでは、定例会で行われた一般質問を掲載しています。
議員が行った一般質問は町政にどう反映されているのでしょうか？
これまでの質疑のなかから一部をピックアップし、
その後の経過を追跡しました。



質問

令和8年第2回定例会 竹中議員一般質問より

「実効性のある熊対策が急務である」



改正鳥獣保護管理法が施行され、一定の条件のもと自治体の判断で市街地でも緊急的に熊の捕獲に猟銃を使用することが可能となり、熊の出没や人的被害、農作物の被害が全国的に報道されており、住民の不安が高まっています。実効性のある熊対策が急務であると考え、緊急時の対応手順や猟銃使用の判断を明確にするための「熊出没対策マニュアル」「猟銃対応マニュアル」策定に対する考えがあるのか伺います。



答弁

河田町長の答弁より

「8月中に熊対策のマニュアルを制定する」

北海道が定めている「熊出没対応方針」などにに基づき、猟友会豊富部会をはじめ関係機関と連携し対応を行ってきました。ヒグマ出没件数が増加している状況も踏まえ、豊富町独自のヒグマ対応方針の策定に向けて早急に猟友会豊富部会や関係機関と執り進めていきたいと考えております。



それから

農林水産課長に伺いました

農林水産課長

6月定例会での一般質問を受け、「豊富町ヒグマ対応方針」「豊富町ヒグマゾーニング計画」「豊富町緊急銃猟対応マニュアル」の策定に向けて関係機関と協議し、事務を執り進め、マニュアル等の作成に必要な『図上訓練』や『現地(実地)訓練』も実施しました。



議会とよとみ256号

スマートフォンをご利用の方は、一般質問の様子をこちらからご覧いただけます。



ヒグマ対応にかかる図上型訓練

- 実施日 令和8年8月5日(水曜日)
- 場 所 豊富町役場 議員会議室
- 参加者 17名 猟友会豊富部会、天塩警察署、宗谷総合振興局、豊富消防、農林水産課、総務課



「豊富町ヒグマ対応方針」「豊富町ヒグマゾーニング計画」「豊富町緊急銃猟対応マニュアル」を基に、緊急銃猟で発砲する場合を想定し、関係機関の動き(誰が何をするのか)の確認と問題点を洗い出すことを目的に図上訓練を実施しました。



豊富町緊急銃猟実地訓練

- 実施日 令和8年8月31日(月曜日)
- 場 所 豊富町自然公園パークゴルフ場
- 参加者 27名 猟友会豊富部会、天塩警察署、宗谷総合振興局、豊富消防、農林水産課、総務課



関係機関合同による実地訓練として、自然公園パークゴルフ場で、体長2mのヒグマの目撃情報を想定し行われました。ヒグマの目撃情報から、緊急銃猟の判断(条件)を確認、現地対策本部の設置、豊富消防のドローンによる上空からの追跡、射手の模擬発砲など一連の流れを確認し、緊急銃猟の実地訓練を実施しました。訓練後には、ドローン映像の有効性や射手の配置場所の確認が行われ、問題点などが話し合われました。



緊急銃猟の判断(以下のすべての条件に該当すること)

- ☑場 所：人の日常生活圏へ侵入している状況
- ☑緊急性：人に対する危害の防止を緊急的に実施する必要がある
- ☑方 法：銃猟以外で捕獲が困難
- ☑安全の確保：ヒグマの背後が山でありバックストップが存在、跳弾の可能性が低い、射線上に住宅がない



総務産業常任委員会 現地視察

令和8年9月15日
に、総務産業常任委員
会で町営住宅7か所と町
営施設3か所の現地視察
を行い、担当職員から説明
を受けました。

視察状況の一部と議員
からの意見をご紹介します。

■開催日 令和8年9月15日（火曜日）

■参加議員 千葉 久・鎌倉 和雄・水戸部 正博・佐々木 政義
(計8名) おがさわら てるみ・たけなか たかひろ・まえだ こういち・ささき まこと
小笠原 照美・竹中 隆浩・前田 孝一・佐々木 誠

町営住宅

【状 況】

豊富町では「公営住宅」と「特定公共賃貸住宅」を管理している。それぞれ入居資格要件が異なり、入居募集などは回覧版やSNSで発信している。

●公営住宅…一町内団地(48戸)・中央団地(40戸)・四町内団地(48戸)・富士見団地(72戸)・サロベツ団地(91戸)・はまなす団地(26戸)・稚咲内団地(16戸)・温泉団地(8戸)・兜沼、沼ノ端団地(16戸)

●特定公共賃貸住宅…四町内団地(20戸)※単身・はまなす団地(38戸)



一町内団地



四町内団地



はまなす団地



中央団地



富士見団地駅西

富士見団地リモデル



稚咲内団地



議員意見

公営住宅全般において、金属部のサビ・木部防腐剤の剥がれ落ちなど、初期の劣化が見られるため、早期に対処することで大規模修繕とならないように実施していただきたい。また、残置物(自転車・ポリタンクなど)の放置・樹木や雑草などの環境整備において、集合住宅にありがちな無関心さが伺える状況は、どこが主体的に行うべきか協議すべきである。

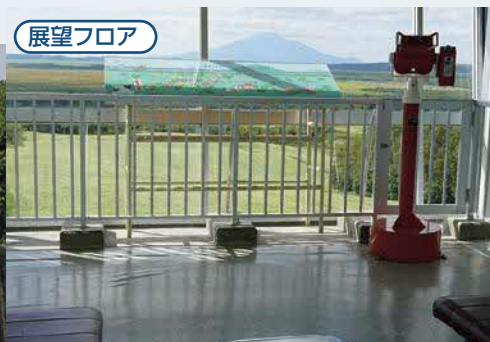


※豊富町内の公営住宅の詳細はこちらをご覧ください

宮の台展望台【徳満】

【状 況】

豊富市街地から国道40号を北へ約6.5km(徳満地区)の小高い丘の上に展望台が設置され、雄大な利尻山や広大なサロベツ原野を一望できる。



議員意見

展望台は良好な状態であったが、牛のモニュメントが見えにくいこととトイレや水飲み場がポンプの故障で使用ができない状況であるため、可能であれば改善(修理)を行っていただきたい。また、国道40号線から展望台へ向かう案内看板が必要ではないか。

屋内多目的運動場

【状 況】

健康の維持増進やスポーツの振興を図るため屋内の運動場を設置し、弓道・ゲートボール・野球・サッカーなどの練習で使用が可能。



議員意見

多目的運動場は、大学などの弓道部合宿や野球の練習などに利用されており、利用率が下がる傾向にあるが、利用促進のための活用方法の周知に努めていただきたい。また、床面の土に少数のへこみがあるので、修復をお願いしたい。



※屋内多目的運動場の詳細はこちらをご覧ください

議会レポート 北海道町村議会議員研修会

■開催日 令和8年7月2日（木曜日） ■会場 札幌コンベンションセンター
 ■参加議員 千葉 久・鎌倉 和雄・前田 孝一・佐々木 政義・小笠原 照美・佐々木 誠
 （計8名） 水戸部 正博・竹中 隆浩

研修会では、関東学院大学牧瀬教授より「地方議員への12の政策アイデアから人口維持を目指す実践事例」、ジャーナリストの須田慎一郎氏より「どうなる政治・経済～日本再生のために何が必要か～」と題して、それぞれ講演が行われました。両氏の講演内容とも非常に興味深く、熱心に耳を傾け、議員一同大変勉強になりました。

これからも、積極的に議員研修会等に参加し、今後の活動に役立てるとともに町の議会改革に向けて努めてまいります。



議会レポート 広報研修会

■開催日 令和8年8月18日（火曜日） ■会場 ホテルポールスター札幌
 ■参加議員 竹中 隆浩・小笠原 照美・千葉 久・鎌倉 和雄・水戸部 正博・佐々木 政義
 （計6名）

研修会では、議会広報サポーター芳野氏より「議会の見える化&住民との信頼関係～議会広報の基本と編集～」と題して講演が行われ、研修会の後半では議会広報クリニックに参加し、豊富町議会の広報紙「議会とよとみ」を講師に診断していただき、議会開催から発行までの期間や紙面の構成に対し、具体的な指導を受けました。

町民の皆様に、議会活動が広く伝わるよう「読みやすく親しみやすい議会広報紙」を目指し、情報発信してまいります。



豊富町×大学生 魅力促進アイデアコンテスト & 交流会

■開催日 令和8年9月11日(金曜日)・12日(土曜日) ■場所 定住支援センター・兜沼キャンプ場

■参加議員 千葉 久・鎌倉 和雄・竹中 隆浩・小笠原 照美・佐々木 政義・前田 孝一
(計8名) 佐々木 誠・水戸部 正博

ワクワクとよみ未来会議(環境省事業)が主催する「アイデアコンテスト」に参加しました。北海学園大学などの大学生は豊富町に長期滞在し、観光名所を巡ったり、産業や事業に関わる事業者インタビューをしたり、豊富町での活動アイデアを考えて町民に発表しました。翌日、兜沼地区の協力のもとキャンプ場にて交流会を開催しました。



[257号の表紙] 新規漁業就業に向けて奮闘中の飯嶋 龍世さん【稚咲内】

北海道漁業就業支援フェア2024inさっぽろをきっかけに、豊富町水産業担い手確保支援事業を活用し、豊富町で新規漁業の就業に向けて奮闘中です。

地元漁師のお母さんは「とても元気で、周囲をパッと明るくしてくれる。稚咲内に活気が出たよ!」とお話しされていました。

広報広聴常任委員会一同、これからの活躍に期待しています。

[飯嶋さんからのコメント]

親方に恵まれていることを常に思っています。“和気あいあい”と“強い結束力”は他の漁港にはない素晴らしい環境です。親方に少しでも近づけるように頑張ります!



未来にとどけ今の声

豊富町を住み続けたい
町にするために

豊富町に一言！

高校生の声

豊富高校2年生

くりき せいな
栗城 星那さん



中校生の声

豊富中学校2年生

やまだ えれな
山田 笑礼奈さん



豊富町を住み続けたい町にするためには、「買い物難民」を減らすことが重要だと考えます。なぜなら、買い物に困るようなことがあると不便だからです。実際に、私は欲しい化粧品は町内で買えず、不便だと感じた経験がありました。また、私たち学生は、家庭の車かJRなどの公共交通機関を使うほかに、稚内に行く手段がありません。気軽に買い物へ行くことができないのです。これらのことから、町内に「ドラッグストア」があると便利だと思いました。ドラッグストアには、医薬品や化粧品のほかに日用品や食品が売られていることが多いです。そのため、このようなお店が町内にできれば、誰でも気軽に買い物ができる便利だと考えます。

しかし、店自体を増やすことが難しい場合、移動販売を呼び込むのはどうでしょうか。調べたところ、文房具の移動販売やキッチンカーなどがあるようでした。このような移動販売が、閉店してしまったスーパーの前に出店していると、付近に住む、スーパーを利用していた方を買い物の面でサポートできるのではないのでしょうか。町内で気軽に買い物ができ、「買い物難民」が減ると、この豊富町に住み続けたいと思う方がさらに増えると考えます。

私は、豊富には中高生が遊ぶ場所や勉強する場所が少ないと思い、遊ぶ場所や勉強する場所を増やしてほしいと思いました。このように思った理由は、二つあります。

一つ目は、勉強する場所とゲームや遊びなどをする場所が同じで勉強に集中できないことです。

たとえば、定住支援センターの白いテーブルや茶色のテーブル、雪の部屋などは、友達と勉強したり遊んだりする場所になっていますが、勉強しているときに、となりでゲームをしたり遊んだりしていたら、集中できないと思います。改善策として、勉強する場所と遊ぶ場所を分けてみるといいと思います。また、定住支援センターの会議室などについて、予約の入っていない日は、学習場所として開放すると良いと思います。他にも、町民センターも学習場所として提供されていますが、暖房が古く、寒いので私はあまり行こうと思えません。そこを改善することも必要だと思います。

二つ目は、町外へ勉強したり遊びに行ったりしづらいことです。汽車の料金が高く、親の送迎も仕事の関係で難しいことが多く、町外に行きづらくなっています。改善点として、短い距離でも、学生証を提示したら汽車の料金が割引されるなどの制度があるとよいと思います。

訂正とお詫び

256号(8/26発行)の記載内容に誤りがございました。
訂正し深くお詫び申し上げます。

【訂正箇所】

中学生の声 豊富中学校3年生 渡部 蒼さん

議会を傍聴してみませんか

議員は議場でどんな発言をしているのか。どんなまちづくりを考えているのか。今後の町の方向性を直接聞くことができるいい機会です。ぜひ、お越しください。



次回定例会は **12月** です。(12月中旬開催予定)

豊富町議会広報紙

議会とよとみ 第257号 (発行日 令和8年10月7日)

■発行責任者/議長 千葉 久 ■編集/広報広聴常任委員会

【豊富町議会事務局】

〒098-4110 北海道天塩郡豊富町大通6丁目 TEL.0162-73-1755 FAX.0162-82-2806